

平成 23 年度

当初予算資料

市長公室

平成23年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分		平成23年度	平成22年度	増 減	対前年度比
一般会計当初予算額①		12,127,189	12,077,019	50,170	0.4
特 別 会 計 ②		3,411,704	3,428,142	△ 16,438	△ 0.5
特 別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	2,704,009	2,713,839	△ 9,830	△ 0.4
	老人保健事業	0	1,526	△ 1,526	△ 100.0
	後期高齢者医療事業	496,932	494,906	2,026	0.4
	青年の家事業	6,122	9,490	△ 3,368	△ 35.5
	市有林整備事業	28,714	30,628	△ 1,914	△ 6.2
	紀和診療所事業	97,928	106,768	△ 8,840	△ 8.3
	紀和地区水道事業	77,999	70,985	7,014	9.9
	水道事業会計③		574,100	565,298	8,802
合計(①+②+③)		16,112,993	16,070,459	42,534	0.3

一般会計歳出予算の状況

(単位：千円、%)

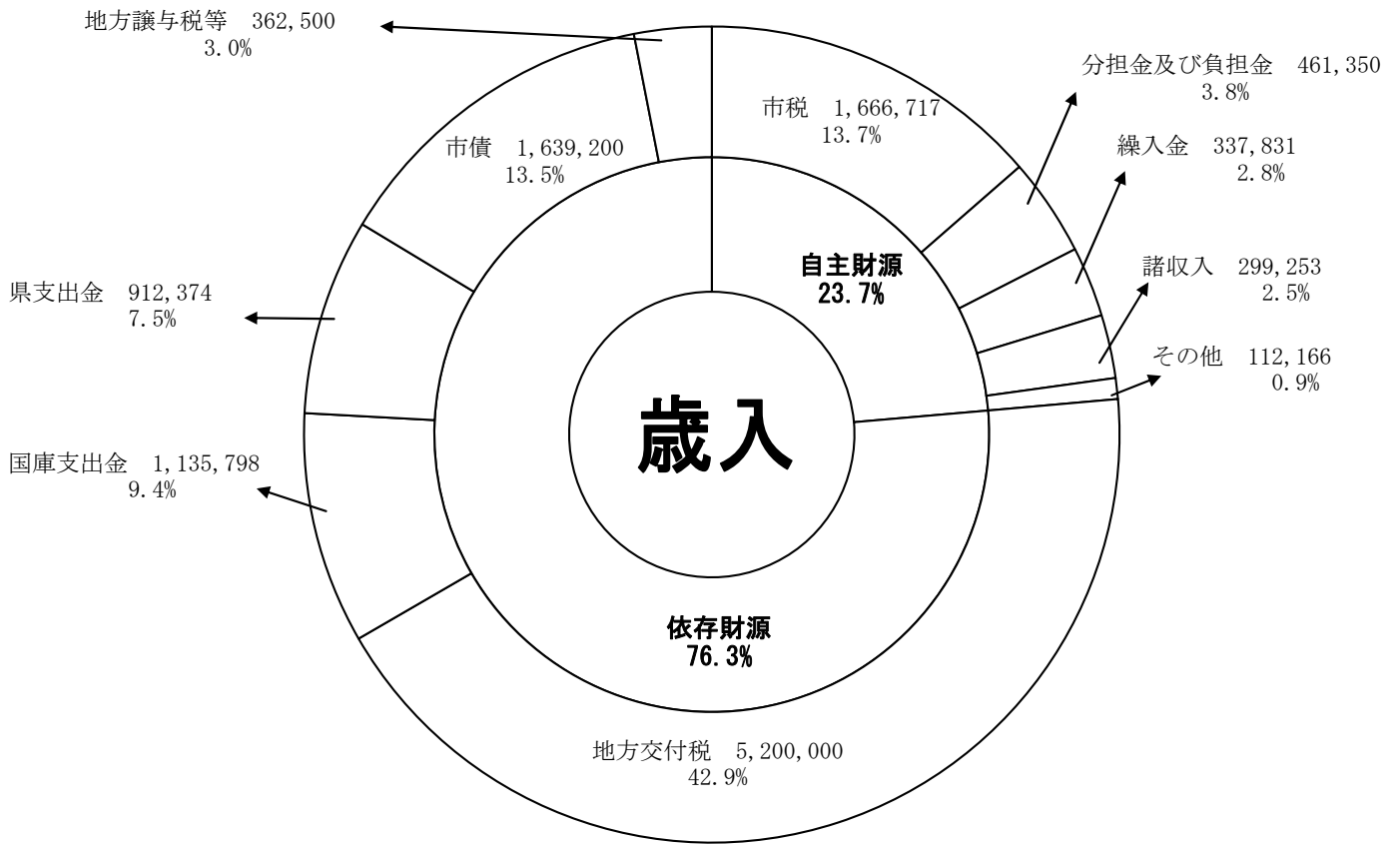
区 分	23年度当初 A	22年度当初 B	比 較		構成比	
			増減額 A - B	増減率 A/B		
1 義務的経費	5,738,447	5,692,519	45,928	0.8	47.3	
内 訳	人件費	2,619,937	2,913,951	△ 294,014	△ 10.1	21.6
	扶助費	1,439,598	1,293,018	146,580	11.3	11.9
	公債費	1,678,912	1,485,550	193,362	13.0	13.8
2 普通建設事業費	2,364,526	2,608,487	△ 243,961	△ 9.4	19.5	
内 訳	補助事業	1,107,018	1,424,153	△ 317,135	△ 22.3	9.1
	単独事業	1,257,508	1,184,334	73,174	6.2	10.4
3 災害復旧費	18,110	16,100	2,010	12.5	0.1	
4 その他経費	4,006,106	3,759,913	246,193	6.5	33.1	
合 計	12,127,189	12,077,019	50,170	0.4	100.0	

一般会計歳入予算の状況

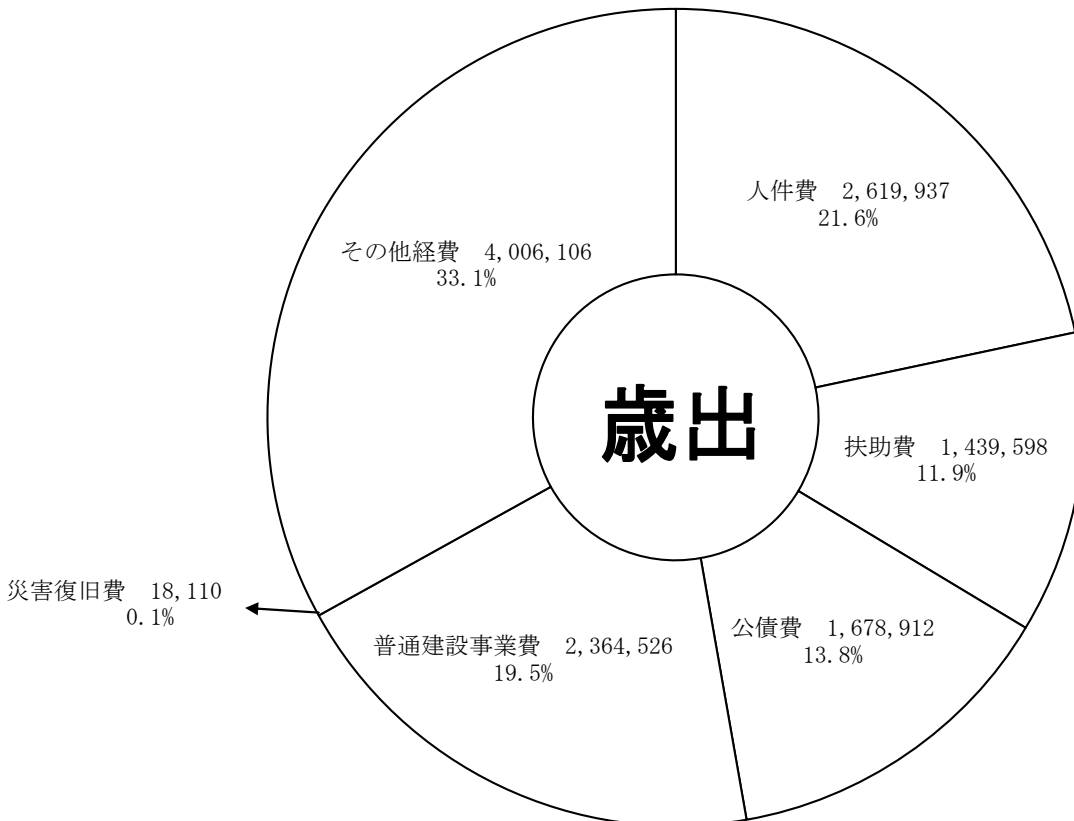
(単位：千円、%)

区 分	2 3年度当初 A	2 2年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A/B	
市税	1,666,717	1,683,040	△ 16,323	△ 1.0	13.7
地方譲与税等	362,500	332,500	30,000	9.0	3.0
地方交付税	5,200,000	5,040,000	160,000	3.2	42.9
分担金及び負担金	461,350	486,135	△ 24,785	△ 5.1	3.8
使用料及び手数料	91,778	88,364	3,414	3.9	0.8
国庫支出金	1,135,798	1,228,375	△ 92,577	△ 7.5	9.4
県支出金	912,374	813,108	99,266	12.2	7.5
財産収入	12,628	21,862	△ 9,234	△ 42.2	0.1
寄附金	2,760	4,101	△ 1,341	△ 32.7	0.0
繰入金	337,831	277,480	60,351	21.7	2.8
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.0
諸収入	299,253	282,154	17,099	6.1	2.5
市債	1,639,200	1,814,900	△ 175,700	△ 9.7	13.5
合 計	12,127,189	12,077,019	50,170	0.4	100.0

一般会計歳入予算総額 12,127,189千円



一般会計歳出予算総額 12,127,189千円



平成23年度当初予算(一般会計)について

～最後のチャンスを勝ち取るために！～ 過去最大の超大型積極予算

1. 予算の概要

平成23年度の当初予算は、中長期的に

- (1) 整備が進む高速道路完成までが、市の活力再生の“正念場”、“最後のチャンス”であり、産業振興による雇用の場の創出のため、株式会社熊野市役所の考え方によって、全力を挙げて取り組まなければならないこと
- (2) 「超・超高齢社会」となり、一人暮らしの高齢者の方々を始め市民の皆さんの暮らしの安心確保と健康づくり、大切な子どもたちのための子育て支援・少子化対策がより大きな課題となっていること

などを踏まえ、諸課題に的確に対処していくため、対前年度比0.4%増、総額121億2,718万9千円の予算編成をしております。

また、平成23年度実施予定の事業に国の第1次補正予算による100%の交付金を充当し、平成22年度への前倒しを行う事業を含めた15か月予算では、対前年度比1.7%増、122億8,446万2千円となっています。いずれにしても市の人口規模からみて、非常に積極的で超大型の、本市として過去最大の予算編成にしております。

(1)6年連続の超大型積極予算

平成23年度当初予算は、市民の視点・感覚に立った「市民本位」の行政運営を基本とし、住民サービスの維持・向上を目的とした行財政改革の継続が必要であると再認識した上で、適正な財源確保と徹底的な経費の見直しを行うとともに、限られた財源を最大限に有効活用し、「最小の経費で最大の効果」をあげることを基本としています。

また、「働く場の創出」を最重要テーマに位置づけての産業の振興と、暮らしの安心と健康づくりをキーワードとする福祉社会の実現という2点を中心に、各分野の施策をこれまで以上に力強く前進させ、第1次熊野市総合計画の将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活力と潤いのあるまち・熊野」の実現を目指します。

特に、高速道路が平成25年度に熊野市まで開通する予定であることから、今後3年間は市の発展の最後のチャンスであり、正念場となることから、市内で最も大きな組織である市役所自らもリスクを負って、雇用創出にも取り組み、いわば「株式会社熊野市役所」として、産業振興、雇用の拡大をしっかりと図っていきます。

予算化にあたっては、コスト構造内容の「見える化」という活動基準原価計算(ABC分析)の実施結果を活用し、業務の一層の効率化、コスト削減を進めます。また、重要な事務事業に対しては、スピードをもって対応する必要があると考えます。

いずれにしても職員一人ひとりが優れた経営感覚を持ち、前例にとらわれず積極的に事業を見直し、新しい発想でアイデアを生み出し、創意工夫を図り、平成22年度に引き続き積極的な予算編成(121億2,718万9千円、対前年度比0.4%増、15か月予算では122億8,446万2千円、対前年度比1.7%増)を行っています。同程度の人口規模の市と比較しても、3~4割増となる超大型の予算です。(参考:全国の人口2万人~2万3千人規模の5市の平成22年度当初予算額の平均は約90億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円、平成22年度120億7,701万9千円と毎年度連続して超大型予算を編成しています。

(2)平成23年度の主な事業

①産業の振興「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

特産品づくりでは、マダイに代わる新たな養殖魚を研究する「新規養殖魚調査研究事業」、「新姫」の苗木増産・商品開発を行う「(新姫)特産品化推進事業」などを引き続き実施します。**集客・交流**では、花の窟周辺に資料館・特産品加工所・食堂等の施設を整備する「花の窟周辺整備事業」、レストラン・地域物産販売店・花火館等を整備する「鬼ヶ城センター複合施設建設事業(実施設計)」、通年型の集客に結びつけるためシーカヤックマラソン大会を開催する「海水浴場魅力向上事業」、スポーツによる集客をさらに拡大するため「全日本小学生女子ソフトボール大会開催事業」を新たに実施します。**農業**では、特色のある「すきま野菜」を試験栽培する「新規野菜等産地化検討事業」、**水産業**では、二木島湾内に人工増殖(着定基質に貝殻や間伐材を使用)を沈設する「増殖礁造成事業」を新たに実施します。**豊かな森づくり**では、集約化施策により搬出間伐を推進する「施策集約化促進対策事業」、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VÉR)の取得、販売を推進する「オフセットクレジット推進事業」などを新たに実施します。

②保健・医療・福祉の充実「支え合い助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち」

高齢者安心生活対策では、定期的な安否確認を行う「元気確認推進事業」、独居高齢者に定期的に地区集会所等に参集してもらい食事やゲームをして楽しく過ごしてもらおう「高齢者ふれあい会食事業」などを新たに実施します。**予防・健診**では、虫歯予防のため、幼稚園・保育所・乳児にフッ化物の塗布を行う「フッ化物塗布推進事業」を新たに行います。**健康づくり**では、市内のモデル地区3地区に元気づくり推進

員を配置し、健康づくりのための戸別訪問活動などを実施する「元気づくり推進員モデル事業」を新たに実施します。**少子化・子育て対策**では、中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円、3歳未満は月額2万円を支給する「子ども手当支給事業」、男女の出会いの場を作るためバスツアーや親同士の交流会を引き続き実施する「少子化対策・婚活拡充事業」、金山保育所の土曜日の保育を午後1時から5時まで延長する「金山保育所土曜日延長保育事業」などを新たに実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

学校環境の整備では、引き続き今年度に校舎が完成する「新鹿小・中学校、保育所改築事業」、**スポーツ施設の整備・充実**では、市総合グラウンドのトイレ等を改修する「市総合グラウンド改修事業」、海洋センターの体育館・武道場の改修を行う「海洋センター体育館・武道場大規模改修事業」を新たに実施します。**海洋センター事業**では、マラソンランナー谷川真理さんを招いて新たに実施する「海洋センターリニューアル記念事業」、「ヨット体験教室開催事業」、「カヌー教室開催事業」、泳げない子どもも参加できる「アクアキッズフェスティバル開催事業」などを引き続き実施します。**学校教育**では、児童・生徒の学力向上を図るため、放課後2時間の学習会を実施する「放課後学習プラン事業」、夏休みに20日間の学習会を実施する「夏休み学習プラン事業」などを引き続き実施します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

市街地の整備では、新たに駅前周辺の家並みの熊野らしいデザインでの統一化に向けての「熊野市駅前周辺街並景観整備モデル事業」、西川町獅子岩線の無電柱化を実施する「電線共同溝整備事業」などを引き続き実施します。**防災**では、新たに積載車車庫・待機所を備えた車庫に改築する「育生分団車庫改築事業」、**道路**では、橋長15m以上(市内78橋梁)の修繕計画を策定する「橋梁修繕計画策定事業」を新たに実施します。**住宅・住環境**では、馬ノ戸団地の外壁、屋上防水工事を行う「市営住宅改修事業」を新たに実施します。また、地方バス路線の維持や福祉バスの運行など引き続き公共交通機能の確保を図ります。

⑤「まちづくりの進め方」

「地域おこし協力隊」・「集落支援員」を増員配置する「過疎集落維持活性化推進事業」、30代～40代の若い世代や女性と市幹部との懇談会を実施し、地域活性化の施策を検討する「若者・女性による元気な熊野市懇談会事業」を引き続き実施します。また、平成22年度に引き続き、市内17地域のまちづくり協議会に対する補助事業を実施します。

2. 歳出予算の特徴

(1) 義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比4,592万8千円、0.8%増の57億3,844万7千円となっており、予算全体の47.3%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の減により職員退職手当が2億100万円の減額となり、職員退職者の不補充による職員数の削減効果などと合わせてトータルでは2億9,401万4千円の減となっています。

扶助費につきましては、3歳未満の子ども手当を月額1万3千円から2万円に引き上げることや、生活保護世帯の増などにより、1億4,658万円の増となっています。

公債費につきましては、これまで借入をした市債の通常の償還額は1,805万8千円の減となっていますが、平成22年度に引き続き将来の財政健全化のため、4億6,142万円の繰上償還を行います。この結果トータルでは1億9,336万2千円の増となっています。

(2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、市総合グラウンドのトイレ等を改修する「市総合グラウンド改修事業」、「海洋センター体育館・武道場大規模改修事業」、継続事業では、「新鹿小・中学校、保育所改築事業」、花の窟周辺に資料館・特産品加工所・食堂等の施設を整備する「花の窟周辺整備事業」、西川町獅子岩線の無電柱化を実施する「電線共同溝整備事業」、小学校で1校、中学校で1校実施する「学校耐震補強事業」などを予算化しています。

トータルでは、23億6,452万6千円(前年度比2億4,396万1千円減、△9.4%)となっています。

(3) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別基金事業を増額したことや、国民健康保険事業への繰出金が増となったことなどから、トータルでは2億4,619万3千円の増となっています。

(4) 特色ある新規事業、増額した継続事業

(事業費、事業内容についてはP10～P18)

3. 歳入予算の特徴

(1) 市税

市税については、納税義務者の減少などにより市民税が減となり、市たばこ税についても税率改正後売上げが減となっていることなどから総額で16億6,671万7千円、対前年度比1,632万3千円、1.0%の減となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては17兆3,734億円、対前年度比4,799億円、2.8%増となっております。これを踏まえて、市においては、普通交付税については、平成22年度交付額に国の増額率を乗じ予算化しています。また、特別交付税については、平成22年度当初予算額と同額を予算化しています。

その結果、地方交付税は52億円、対前年度比1億6千万円、3.2%の増となっています。

(3) 市債

市債については、建設事業分では合併特例債を活用することで10億9,900万円、対前年度比7,090万円、6.1%の減となっております。地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、4億3,000万円、対前年度比1億2,000万円、21.8%の減となり、市債総額では、16億3,920万円、対前年度比1億7,570万円、9.7%の減となっています。

市債の内容は、合併特例債5億480万円、過疎債6億6,890万円、その他4億6,550万円となっています。

なお、この結果、平成23年度末の市債残高見込額は122億6,464万2千円となっています。

(4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から2億9,540万8千円を財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成23年度末財政調整基金の残高見込額は23億156万円となっています。なお、地域振興基金、減債基金などを加えた基金総額では32億5,483万2千円となっています。

特色ある新規事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
1 特用林産物試験栽培事業	922	紀和町にある旧石原産業の坑道を利用し、ハタケシメジ等の菌床試験栽培を実施します。
2 千枚田米精米等設備整備事業	1,700	丸山千枚田で収穫される千枚田米の精米及び保管環境を整備します。
集客・交流		
3 全日本小学生女子ソフトボール大会開催事業	2,300	全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、全日本小学生女子ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。
4 レンタサイクル整備事業	1,680	レンタサイクルを整備し、駅前、記念通り、本町通り、花の窟といった拠点を周遊できる仕組みを作ります。
5 徐福の里魅力向上事業	1,828	徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。
6 海水浴場魅力向上事業	500	新鹿海水浴場の魅力を高め、通年型の集客に結びつけるため、シーカヤックマラソン大会を実施します。
7 楯ヶ崎魅力向上事業	27	楯ヶ崎の魅力を高め集客に結びつけるため、遊歩道の設置に向け環境省との協議などを行います。
8 丸山千枚田魅力向上事業	91	丸山千枚田の一層の集客を図るため、休耕田に花を植えて景観を整備するとともに、展望台に案内看板を設置します。
9 丸山千枚田虫おくり支援事業	1,000	丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。
10 くまの地域資源魅力向上事業	450	楯ヶ崎、海水浴場、徐福、丸山千枚田といった十分に活用されていない市内の地域資源の魅力を高め、集客に結びつけるため「めざせ！くまの観光案内人」育成事業、新しいくまの発見モニターツアー事業、観光体験メニュー利用促進事業を実施します。
11 都市農村交流推進事業	252	都市住民(相模女子大学)と集落の都市農村交流をさらに促進するために実施する国の「食と地域の交流促進集落活性化対策事業」を適正かつ円滑に実施するため、サポート活動を行います。
12 オール熊野大ふるさとまつり開催事業	500	新しく整備される駅前広場を拠点とした集客・活性化イベントを平成24年5月に開催するため、企画立案等の準備を進めます。
農業		
13 新規野菜等産地化検討事業	1,654	特色のある「すきま野菜」を育生・上川地区で試験栽培を行います。また、市場競争力のある高付加価値化としての加工についても検討し、試験的に上川地区で取組が始まっている人参・竹炭等について研究します。
14 農業公社事業	11,347	新たに遊休農地の再生利用、農産物の生産、新規野菜の研究・試験栽培を実施する「農業公社」の事業を実施します。
15 農産物施肥適正化支援事業	652	土壌の改善により生産阻害要因を的確に捉え、有機物の不足や養分の欠乏及び過剰、養分バランスを科学的に把握するため、土壌診断の経費を補助します。

事業名	事業費	事業内容
16 戸別所得補償制度推進事業	1,985	本格実施される「戸別所得補償制度」を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。
林業・豊かな森づくり		
17 熊野材輸出促進事業	1,769	市と熊野木材協同組合が一体となって熊野材輸出促進のための協議会を設置し、熊野材の産地化を進めることによって消費者の認知度を深め、工務店などに営業活動を行うことにより、都市部での需要拡大を図ります。
18 オフセットクレジット推進事業	8,500	市内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VÉR)の取得、販売を推進します。
19 施業集約化促進対策事業	18,627	小規模森林所有者の搬出・間伐の集約化を推進するため、森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。
20 森林整備加速化事業	3,500	特定間伐等促進計画に基づき、地形が急峻であるなど、条件が不利な森林の間伐を実施します。
21 甲虫類飼育事業	100	紀和町のクスギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的につくり増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに観光客に昆虫採取の体験メニューを提供します。
水産業		
22 熊野ブランド水産物確立モデル事業	2,208	熊野で水揚げされる水産物が安心・安全な“熊野ブランド水産物”として認証し流通させるため、鮮度保持効果が高いとされる断熱コンテナ等の導入経費に対し補助を行います。
23 漁業6次産業化推進事業	800	漁業関係者等と産地協議会を設置し、漁業の6次産業化に資する取組を行います。
24 漁業新規就業者支援事業	380	熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。
25 遊木漁港改良事業	5,001	遊木漁港内の航路に土砂が堆積し漁船運行に支障があるため、浚渫し改善を図ります。
26 増殖礁造成事業	5,000	二木島湾内に人口増殖礁(着定基質に貝殻や間伐材を使用)を沈設します。
商工業		
27 中心市街地歩行者天国社会実験事業	789	市街地の中心部を通っている記念通り商店街において歩行者天国による物産販売及びイベントを実験的に実施し、中心市街地の活性化を図ります。
28 過疎地域店舗再生事業	6,000	市内過疎地域におけるJA三重南紀の各支所が閉店になることに伴い、地域住民主体による店舗経営を実施し、かつ、地域住民若しくは区等が初期投資費用を支出する場合に補助します。
29 若者・女性事業者フォローアップセミナー開催事業	571	起業して間もない事業者や若手、女性事業者を対象に税制、会計、国・県等が実施する支援策や融資制度等に関するセミナーを開催します。
30 商店街ニーズ調査研究事業	157	熊野市全域の市民を対象にした商店街に対するニーズを郵送式アンケートにより調査し、調査結果を反映した商店街振興施策を実施します。
農村環境の整備		
31 農業公園整備事業	897	金山町地内に研修農地や市民農園を中心とした農業公園を整地した部分から段階的に整備します。

事業名	事業費	事業内容
小計 31事業	81,187	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者安心生活対策		
1 元気確認推進事業	441	元気確認(見守り)を希望される一人暮らし高齢者を把握し、定期的な安否確認を実施します。
2 高齢者ふれあい会食事業	103	独居高齢者等に定期的に集会所等へ集まっていただき、皆で食事をとりながら介護予防活動等を行っていただきます。5地区で実施します。
3 高齢者福祉計画策定事業	54	高齢者福祉施策にかかる3ヵ年計画を策定し、高齢者福祉施策を総合的かつ計画的に推進していくための指針とします。
予防・健診		
4 幼稚園フッ化物塗布推進事業	104	虫歯予防のため、幼稚園園児にフッ化物塗布を行います。
5 保育所フッ化物塗布推進事業	308	虫歯予防のため、保育所園児にフッ化物塗布を行います。
6 乳児フッ化物塗布推進事業	573	虫歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳児にフッ化物塗布を行います。
7 子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種緊急促進事業	29,010	予防接種のうち子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン予防接種に要する費用を補助します。
8 子宮頸がんワクチン接種(高校2年・3年対象)助成事業	2,160	国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業において、子宮頸がんワクチン予防接種の接種対象外となる高校2年・3年を対象にワクチン接種費用の一部を補助します。
健康づくり		
9 元気づくり推進員モデル事業	1,004	市内のモデル地区3地区に元気づくり推進員を配置し、地域の実情に応じたきめ細かい健康づくりのための戸別訪問活動などを行います。
生活支援		
10 地域自殺対策緊急強化事業	500	県内で自殺死亡率が高い東紀州地域の状況について、市民に関心を持ってもらい、地域全体で自殺を予防することの大切さを理解してもらいます。
少子化・子育て対策		
11 熊野市ファミリーサポートセンター事業	2,100	ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。
12 金山保育所土曜日延長保育事業	332	土曜日の保育を午後1時から午後5時まで延長し、保育サービスの充実を図ります。
13 保育所絵本購入事業	513	子どもの豊かな心の成長を育むため、保育所において絵本を購入し、貸出しを行います。
小計 13事業	36,658	
3 教育・文化の振興		
海洋センター事業		

事業名	事業費	事業内容
1 海洋センターリニューアル記念事業	331	マラソンランナー谷川真理さんによるウォーキング教室などを開催し、リニューアルした海洋センターをより多くの方々にPRし利用促進を図ります。
スポーツ施設の整備・充実		
2 市総合グラウンド改修事業	104,636	老朽化した浄化槽、体育館トイレ、屋外トイレの改修を行います。また、プールを解体撤去し、駐車場と倉庫を整備します。
3 海洋センター体育館・武道場大規模改修事業	35,214	老朽化している海洋センター体育館・武道場の外壁、屋根、内部等の改修を行います。
4 山崎運動公園ブルペン建設事業	5,000	山崎運動公園内に野球の投球練習場を整備します。
文化芸術		
5 市民会館舞台照明設備改修事業	188,000	老朽化し交換部品がなくなる市民会館舞台照明設備を改修します。
6 バンド演奏練習場整備事業	3,800	山崎運動公園多目的グラウンド管理施設2階の準備室をバンド練習ができるように天井、内壁及び床の吸・防音性能を高めるため改修を行います。
文化財		
7 水車谷鉦山跡竈跡保存施設改修事業	5,390	史跡の主要な遺構を損なう危機的な状況にあるため、保存施設の改修を行い貴重な文化財の保存・継承を図ります。
8 新「熊野市の文化財」図書編纂事業	884	合併後の新熊野市における文化財の内容をまとめた図書「熊野市の文化財」を2年間で編纂します。
人権の尊重		
9 持続可能な人権教育のための調査研究事業	1,500	人権学習の指導方法・内容充実を図るため、市内小中学校区の教職員が研修会等を実施します。
10 人権教育総合推進地域事業	1,020	小中学校において、教職員研修会、先進地視察等を実施し、地域内の人権教育の推進と充実を図ります。
小計 10事業	345,775	
4 生活環境の整備		
市街地の整備		
1 熊野市駅前周辺街並景観整備モデル事業	1,200	駅前周辺の家並みの熊野らしいデザインでの統一化を図ります。
防災		
2 育生分団車庫改築事業	15,040	著しく老朽化している育生分団車庫を積載車車庫、待機所を備えた車庫として改築します。
3 衛星系防災行政無線整備事業	13,840	大規模災害時に備え、衛星系無線機を整備します。
道路		
4 橋梁修繕計画策定事業	4,000	橋長15m以上(市内78橋梁)の橋梁修繕計画を策定します。
住宅・住環境		

事業名	事業費	事業内容
5 市営住宅改修事業	22,500	馬ノ戸団地の外壁、屋上防水、塗装工事を実施します。
小計 5事業	55,380	
5 まちづくりの進め方		
1 小学校花いっぱい運動事業	199	花いっぱい運動を広げるため、市内小学校の敷地内で花づくりを行います。
2 市ホームページ修正事業	200	煩雑な部分を整理し、見やすいホームページに改善します。
3 小規模水道整備事業	689	育生町大井地区、須野町の小規模水道施設改修事業の補助を行います。
4 長井生活改善センター改修事業	2,300	長井生活改善センターの屋根、外壁塗装、エアコン設置事業を実施します。
5 金山多目的集会所外壁改修事業	2,100	金山多目的集会所の外壁改修事業を実施します。
6 神山生活改善センター駐車場整備事業	291	神山生活改善センターの駐車場の舗装を実施します。
7 磯崎区民集会所エアコン設置事業	114	磯崎区民集会所のエアコン設置費に対し支援を行います。
8 川畑集会所修繕事業	55	川畑集会所のシロアリ対策修繕に対し支援を行います。
小計 8事業	5,948	
総計 67事業	524,948	

増額した継続事業

事業費の()は平成22年度当初予算額

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
1 ふるさと公社事業	65,204 (56,527)	貴重な文化資源である丸山千枚田を保全し、オーナー制度を運営することで観光や文化資源としての活用・農耕文化の継承・都市住民との交流や市の特産品として農産物の生産・加工・販売を行い地元への経済効果・雇用の確保・シルバー人材の活用といった多岐にわたる成果を得るため、「丸山千枚田オーナー制度運営事業」・「地鶏生産事業」・「地鶏販売促進事業」・「地域環境整備事業」などを行います。
2 新規養殖魚調査研究事業	4,652 (4,452)	マダイに代わる新たな養殖魚としての可能性を探るため、ウマズラハギ及びアワビを試験的に養殖します。
3 熊野地鶏振興事業	1,570 (1,068)	「熊野地鶏」を市の新たな特産品としてブランド化を図り、市内外でPR活動を実施し、販売先の確保を進めます。
集客・交流		
4 花の窟周辺整備事業	157,885 (14,843)	花の窟周辺に資料館、特産品加工所、食堂等の施設を整備し、花の窟を魅力ある観光地とします。
5 鬼ヶ城センター複合施設建設事業	21,411 (13,429)	老朽化が著しい鬼ヶ城センターを改築し、レストラン、地域物産販売店、花火館等の複合施設を整備するため、平成23年度は実施設計を行います。
6 熊野古道積極活用推進事業	1,773 (1,501)	熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、「熊野古道写真学校」開催事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成を行います。
農業		
7 新規就農者自立支援事業	3,000 (1,800)	UIターン等新規就農に向けた研修を実施する農家に、研修生への日当の一部を補助します。6か月の研修終了後、研修終了者に対し18か月間、月額10万円の自立経営を促進するための融資を行います。8年間定住して農業を継続して営んだ場合には、その後の償還を免除します。
8 耕作放棄地再生利用事業	423 (259)	耕作放棄地解消を目的として、市の支援後も継続的に取り組めるような作物を地域とともに研究し実証していきます。
農村環境の整備		
9 県営中山間地域総合整備事業	40,500 (27,625)	中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。
商工業		
10 緊急雇用創出事業	104,636 (26,918)	離職を余儀なくされた、非正規労働者や中高年齢者等の失業者に対し、短期の雇用・就業機会の創出を図ります。
11 ふるさと雇用再生特別基金事業	34,445 (27,124)	地域の雇用再生のため、求職者等を雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施することで、地域における継続的な雇用創出を図ります。

事業名	事業費	事業内容
12 物産展開催事業	781 (527)	市外への輸出を促進するため、大都市消費者のニーズを把握するとともに、展示、販売方法等を研究し、市の観光資源等もPRします。
小計 12事業	436,280 (176,073)	
2 保健・医療・福祉の充実		
少子化・子育て対策		
1 子ども手当給付事業	330,568 (287,240)	中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円を児童手当に上乗せして支給します。3歳未満は一人当たり月額2万円を支給します。
2 放課後児童対策事業	10,838 (7,898)	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。
3 母子家庭高等技能訓練促進事業	8,510 (1,742)	母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。
4 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業	1,350 (450)	くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。
5 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業	336 (192)	子育ての不安感、孤立感を解消するため、6歳未満の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1を助成します。23年度は新たにひとり親家庭の場合は利用料の4分の3を助成します。
6 少子化対策・婚活拡充事業	297 (266)	男女の出会いの場を作るため、バスツアーや親同士の交流会を実施します。
7 少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業	118 (94)	3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の店舗で割引などのサービスが受けられるパスポートを発行します。
社会保障等		
8 障がい者自立支援事業	392,364 (346,729)	障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、車椅子などの補装具やオムツなどの日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。
9 心身障がい者医療費助成充実事業	1,542 (1,099)	療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。
10 障がい者グループホーム等移行支援事業	1,328 (866)	障がい者グループホーム等入居者の家賃補助を行い、自立生活を支援します。
小計 10事業	747,251 (646,576)	
3 教育・文化の振興		
学校環境の整備		
1 新鹿小・中学校、保育所改築事業	425,616 (217,158)	小中保育所併設校舎、屋内運動場の改築事業を22年度から3ヵ年で実施します。
特別支援教育		

事業名	事業費	事業内容
2 臨時介助員配置事業	36,407 (27,534)	知的、身体的障がいのある児童生徒に介助員を配置します。
3 臨時特別支援教育支援員配置事業	5,337 (4,785)	特別支援教育が必要な学校に支援員を配置します。
学校教育		
4 奨学金貸付事業	7,800 (6,000)	大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後毎月2万円の償還を受けます。
学力向上の推進		
5 放課後学習プラン事業	1,274 (910)	市内小中学校7校を対象に、放課後2時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。
6 夏休み学習プラン事業	504 (270)	市内小中学校7校を対象に、夏休みに20日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。
男女共同参画社会		
7 男女共同参画推進事業	1,351 (380)	男女共同参画の普及のための講演会などを実施します。また、24年度以降の基本計画改訂版策定に向けた準備作業を行います。
海洋センター事業		
8 アクアキッズフェスティバル開催事業	402 (112)	泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。
小計 8事業	478,691 (257,149)	
4 生活環境の整備		
防災		
1 災害時救護所整備事業	990 (700)	大規模災害時、地元医師会を中心とした救護所の設置のため、避難用大型テント、発電機などを整備します。
2 災害時避難所整備事業	768 (363)	大規模災害時、避難生活に必要な簡易かまど、簡易トイレ、紙おむつ等を整備します。
3 豪雨対策事業	437 (181)	大雨、洪水時の災害に備えて、要望のある自主防災組織に対し、土のうを無償配布し、住民が緊急時に対応できるようにします。
4 急傾斜地崩壊対策事業	8,800 (6,600)	甫母地区外2地区の急傾斜地崩壊対策事業に対し事業費の一部を負担します。
市街地の整備		
5 電線共同溝整備事業	31,502 (20,010)	都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。23年度は詳細設計、水道管・電柱移設を実施します。
廃棄物処理体制		
6 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業	24,778 (9,000)	耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターを建設するために必要な生活環境影響調査等の業務を実施します。

事業名	事業費	事業内容
温暖化防止		
7 緑のカーテン運動推進事業	229 (199)	地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。
土地利用		
8 地籍調査事業	12,693 (7,672)	道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、国道、県道の整備促進を図ります。
交通体系の整備		
9 福祉バス運行事業	9,445 (5,935)	①紀和町全域において、バスの未運行地域に福祉バスを運行し、地域の高齢者が安心して生活ができるよう利便性を確保します。 ②JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。23年度は車輛の更新を行います。
10 第3種生活路線維持事業	6,849 (6,173)	市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。
11 地域公共交通会議運営事業	328 (266)	市が運行主体となる地域公共交通、過疎地有償運送の実施及び態様の検討のため、地元住民、関係機関等の中で合意形成を図ります。
道路		
12 道路維持事業	65,000 (60,000)	市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を蓋付き側溝に改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。
13 道路新設改良事業	46,500 (42,500)	市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。
小計 13事業	208,319 (159,669)	
5 まちづくりの進め方		
1 過疎集落維持活性化推進事業	33,896 (24,249)	都市部に居住する田舎暮らし希望者から「地域おこし協力隊」を選任し、移住交流事業の支援等の過疎集落対策を実施します。また、市内から「集落支援員」を募集し、高齢者の見守り等の生活環境維持の支援を行うことにより、集落機能の強化を図ります。
小計 1事業	33,896 (24,249)	
総計 44事業	1,904,437 (1,263,716)	

平成23年度一般会計当初予算の主な内容

事業費の()は平成22年度当初予算額

①産業の振興

「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

1 集客交流の推進

(1)観光業

(ア)受入態勢の向上

(増額) 花の窟周辺整備事業

【観光スポーツ交流課】 1億5,788万5千円(1,484万3千円)

花の窟周辺に資料館、特産品加工所、食堂等の施設を整備し、魅力ある観光地とします。

(増額) 鬼ヶ城センター複合施設建設事業

【観光スポーツ交流課】 2,141万1千円(1,342万9千円)

老朽化が著しい鬼ヶ城センターを改築し、レストラン、地域物産販売店、花火館等の複合施設を整備するため、平成23年度は実施設計を行います。

(継続) くまのまごころおもてなし向上事業 【観光スポーツ交流課】 14万7千円

観光客と直接接する機会のある団体に対し、「くまのらしいおもてなし」向上のための研修会を開催します。

(継続) 特産品活用名物料理創作事業 【観光スポーツ交流課】 20万円

来訪者にまた来たいと思っていただけるよう、熊野地鶏、新姫など地元特産品を活用した名物料理を創作します。

(イ)観光地としての魅力創造

(新規) 徐福の里魅力向上事業 【観光スポーツ交流課】 182万8千円

徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。

(新規) くまの地域資源魅力向上事業 【観光スポーツ交流課】 45万円

楯ヶ崎、海水浴場、徐福、丸山千枚田といった十分に活用されていない市内の地域資源の魅力を高め、集客に結びつけるため「めざせ！くまの観光案内人」育成事業、新しいくまの発見モニターツアー事業、観光体験メニュー利用促進事業を実施します。

(新規) 楯ヶ崎魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 2万7千円

楯ヶ崎の魅力を高め、集客に結びつけるため、遊歩道の設置に向け環境省との協議などを行います。

(新規) 丸山千枚田魅力向上事業【地域振興課】 9万1千円

丸山千枚田の一層の集客を図るため、休耕田に花を植えて景観を整備するとともに、展望台に案内看板を設置します。

(継続) 新たな集客・交流推進検討事業【観光スポーツ交流課】 132万2千円

鬼ヶ城、花の窟、観光物産会館などの滞留利用拠点づくりに加え、駅前周辺、記念通り・本町通り周辺といった道路やまち並み景観に対しても来訪者や地域住民を大切にするホスピタリティ表現を盛り込むなど集客・経済波及効果の期待できる構想を検討します。

(ウ)体験型観光の促進

(新規) 丸山千枚田虫おくり支援事業【観光スポーツ交流課】 100万円

丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。

(継続) 観光公社事業【観光スポーツ交流課】 1,620万8千円

熊野古道を核として地域の観光資源を組み合わせた旅行や体験プログラムの企画や実施、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などのほか、滞在型の観光を推進することにより、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。また、宿泊施設や食の面で指導的立場をとり、観光客の受入態勢の向上を図ります。

(エ)集客交流の促進

(新規) レンタサイクル整備事業【観光スポーツ交流課】 168万円

レンタサイクルを整備し、駅前、記念通り、本町通り、花の窟といった拠点を周遊できる仕組みを作ります。

(新規) 都市農村交流推進事業【農業振興課】 25万2千円

都市住民(相模女子大学)と集落の都市農村交流をさらに促進するために実施する国の「食と地域の交流促進集落活性化対策事業」を適正かつ円滑に実施するため、サポート活動を行います。

(新規) オール熊野大ふるさとまつり開催事業【市長公室】 50万円

新しく整備される駅前広場を拠点とした集客・活性化イベントを平成24年5月に開催するため、企画立案等の準備を進めます。

(増額) 熊野古道積極活用推進事業【観光スポーツ交流課】177万3千円(150万1千円)
熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、「熊野古道写真学校」開催事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成を行います。

(継続) 熊野囲碁大会開催事業【観光スポーツ交流課】25万円
県内外から囲碁愛好家を集め、市内で2日間にわたり囲碁大会を開催します。

(継続) 紀南中核的交流施設整備事業【市長公室】2,535万5千円
滞在型の集客交流施設の整備を行う(株)エムアンドエムサービスに対し支援を行います。

(継続) 小船梅まつり・小森桜まつり・火まつり・ふるさとまつり開催事業
【地域振興課】430万円
地域の活性化と地域振興のため、伝統あるまつりを継続して実施します。

(継続) 観光イベント開催事業【観光スポーツ交流課】295万円
各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。

(オ)観光客の利便性向上

(継続) 熊野古道シャトルバス運行事業【観光スポーツ交流課】146万6千円
中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために運行されている「熊野古道シャトルバス」への運営費の一部を負担します。

(カ)(財)紀和町観光開発公社の役割

(継続) 温泉集客倍増計画検討事業【地域振興課】1万3千円
平成23年度に基本設計を予定している湯ノ口温泉施設と三重県から移譲の話があるホテル澗流荘施設について温泉集客施設検討委員会を設置し、施設整備の概要について計画を策定します。

(2) スポーツによる集客交流

(ア) 大会・合宿誘致

(新規) 全日本小学生女子ソフトボール大会開催事業【観光スポーツ交流課】230万円
全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、全日本小学生女子ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) 海水浴場魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 50万円

新鹿海水浴場の魅力を高め、通年型の集客に結びつけるため、シーカヤックマラソン大会を実施します。

(継続) 音楽合宿誘致事業【教育委員会】 134万2千円

三重大学、京都教育大学、京都府立・京都医科・京都工芸繊維大学に加え新たに2校の誘致を目指します。

(継続) スポーツフェスティバル開催事業【観光スポーツ交流課】 982万4千円

ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。

(継続) 還暦野球熊野大会開催事業【観光スポーツ交流課】 60万円

山崎運動公園くまのスタジアム等で、還暦の部16チーム、古希の部4チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。

(継続) 紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業【観光スポーツ交流課】 5万円

平成23年11月下旬に紀伊半島グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。

(継続) 紀伊半島寿野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 100万円

三重・和歌山・奈良3県からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 熊野学童軟式野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 50万円

学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 紀伊半島ビーチバレーボールフェスタ開催事業【観光スポーツ交流課】 15万円

平成23年7月に新鹿海水浴場において紀伊半島ビーチバレーボールフェスタを開催することにより、海のまち「新鹿」をPRし、ビーチバレーを通じて集客の拡大、地域の活性化を図ります。

2 商工（鉱）業の振興

(1) 商業

(ア) 販売・輸出の強化

(増額) 物産展開催事業【水産・商工振興課】 78万1千円(52万7千円)

市外への輸出を促進するため、大都市消費者のニーズを把握するとともに、展示、販売

方法等を研究し、市の観光資源等もPRします。

(イ)中小小売業の活性化

(新規) 中心市街地歩行者天国社会実験事業【水産・商工振興課】 78万9千円

市街地の中心部を通っている記念通り商店街において歩行者天国による物産販売及びイベントを実験的に実施し、中心市街地の活性化を図ります。

(新規) 過疎地域店舗再生事業【農業振興課】 600万円

市内過疎地域におけるJA三重南紀の各支所が閉店になることに伴い、地域住民主体による店舗経営を実施し、かつ、地域住民若しくは区等が初期投資費用を支出する場合に、住民等の支出額と同等の額(最大150万円)を補助します。

(新規) 若者・女性事業者フォローアップセミナー開催事業

【水産・商工振興課】 57万1千円

起業して間もない事業者や若手、女性事業者を対象に税制、会計、国・県等が実施する支援策や融資制度等に関するセミナーを開催します。

(新規) 商店街ニーズ調査研究事業【水産・商工振興課】 15万7千円

熊野市全域の市民を対象にした商店街に対するニーズを郵送式アンケートにより調査し、調査結果を反映した商店街振興施策を実施します。

(継続) 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業【水産・商工振興課】 242万円

木本町、井戸町、有馬町の商店街における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内で最高2年間補助します。

(継続) 記念通り商店街活性化事業【水産・商工振興課】 219万8千円

住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。

(継続) 若者起業支援・融資助成事業【水産・商工振興課】 75万円

若者が市内で起業する際、金融機関から起業のために融資を受ける場合において、利子の一部(融資金額の3%・補助対象融資限度額500万円、補助上限15万円)に対して補助を行います。

(2)工(鉱)業

(ア)新たな製品の創造

(継続) 新規特産品開発事業【水産・商工振興課】 40万9千円

熊野市唯一となる地酒の生産・加工に取り組むため、育生町の伝統特産品である「どぶろく」の商品化に向けた取り組みを行います。

(3)就業機会・人材育成

(ア)雇用機会の拡大

(増額) 緊急雇用創出事業【水産・商工振興課】 1億463万6千円(2,691万8千円)

離職を余儀なくされた、非正規労働者や中高年齢者等の失業者に対し、短期の雇用・就業機会の創出を図ります。

(増額) ふるさと雇用再生特別基金事業

【水産・商工振興課】 3,444万5千円(2,712万4千円)

地域の雇用再生のため、求職者等を雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施することで、地域における継続的な雇用創出を図ります。

(イ)人材育成

(継続) 人材育成支援事業【水産・商工振興課】 100万円

就業機会を拡大するために、市内での新たな職種の起業を促進するため、起業を志す市内居住者などが新たに知識、技術を修得するために必要な経費を融資します。

3 農林水産業の振興

(1)農業

(ア)農業者の確保・育成対策

(新規) 農業公社事業【農業振興課】 1,134万7千円

新たに遊休農地の再生利用、農産物の生産、新規野菜の研究・試験栽培を実施する「農業公社」の事業を実施します。

(新規) 戸別所得補償制度推進事業【農業振興課】 198万5千円

本格実施される「戸別所得補償制度」を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。

(増額) 新規就農者自立支援事業【農業振興課】 300万円(180万円)

UIターン等新規就農に向けた研修を実施する農家に、研修生への日当の一部を補助します。6か月の研修終了後、研修終了者に対し18か月間、月額10万円の自立経営を促進するための融資を行います。8年間定住して農業を継続して営んだ場合には、その後の償還を免除します。

(継続) 新規就農者等施設園芸補助事業【農業振興課】600万円

UIJターン新規就農者に対し、施設園芸用設備の整備を行う場合、費用の一部を補助します。

(継続) 元気なみかんの里創生事業【農業振興課】28万円

新規就農者の研修に係る受け入れ農家への費用の一部を助成します。

(イ)市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化

(新規) 新規野菜等産地化検討事業【農業振興課】165万4千円

特色のある「すきま野菜」を育生・上川地区で試験栽培を行います。また、市場競争力のある高付加価値化としての加工についても検討し、試験的に上川地区で取組が始まっている人参・竹炭等について研究します。

(新規) 農産物施肥適正化支援事業【農業振興課】65万2千円

土壌の改善により生産阻害要因を的確に捉え、有機物の不足や養分の欠乏及び過剰、養分バランスを科学的に把握するため、土壌診断の経費を補助します。

(新規) 特用林産物試験栽培事業【林業振興課】92万2千円

紀和町にある旧石原産業の坑道を利用し、ハタケシメジ等の菌床試験栽培を実施します。

(新規) 千枚田米精米等設備整備事業【地域振興課】170万円

丸山千枚田で収穫される千枚田米の精米及び保管環境を整備します。

(増額) 熊野地鶏振興事業【地域振興課】157万円(106万8千円)

「熊野地鶏」を市の新たな特産品としてブランド化を図り、市内・外でPR活動を実施し、販売先の確保を進めます。

(増額) 耕作放棄地再生利用事業【農業振興課】42万3千円(25万9千円)

耕作放棄地解消を目的として、市の支援後も継続的に取り組めるような作物を地域とともに研究し実証していきます。

(継続) 「新姫」特産品化推進事業【農業振興課】835万2千円

「新姫」を特産品として振興していく上で必要な苗木増産、遊休農地等を活用した栽培を進めると同時に商品化に向けての検討を行います。

近年、香酸かんきつが注目されており、さまざまな関連商品が市場流通する中で差別化を図るための商品開発を行います。

(継続) 特産品等開発事業(一地域一品運動)【農業振興課】300万円

地域の人材や資源の活用により、地域の活性化と雇用の創出につながる食品加工・産直施設・伝統工芸・特産品開発事業を行う個人、または、団体の活動に要する経費に対し、支援を行います。

(ウ)農村環境の整備と農地の適正な管理

(新規) 農業公園整備事業【農業振興課】 89万7千円

金山町地内に研修農地や市民農園を中心とした農業公園を整備します。

(増額) 県営中山間地域総合整備事業【産業基盤整備課】 4,050万円(2,762万5千円)

中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。

(継続) 県営畑地帯総合整備事業【産業基盤整備課】 2,250万円

紀南中核的交流施設整備基本計画の基本構想案が示され、残される柑橘園地が明確化し、分断された園地の利用計画が懸念されていることから、畑地帯総合整備事業の実施により高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。

(継続) 農免農道整備事業【産業基盤整備課】 2,333万3千円

農免農道開設事業により国道311号から農村公園、防災拠点施設などを経て、県代行久生屋金山線への中核交流施設核心部にいたる2車線幹線農道の開設について事業を実施します。

(エ)獣害対策

(継続) 有害鳥獣駆除事業【林業振興課】 581万円

鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を引き続き実施します。

(継続) 農林産物獣害対策事業【農業振興課】 310万3千円

農林産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農林産物の安定生産を図ります。

(オ)(財)紀和町ふるさと公社の役割

(増額) ふるさと公社事業【地域振興課】 6,520万4千円(5,652万7千円)

貴重な文化資源である丸山千枚田を保全し、オーナー制度を運営することで観光や文化資源としての活用・農耕文化の継承・都市住民との交流や市の特産品として農産物の生産・加工・販売を行い地元への経済効果・雇用の確保・シルバー人材の活用といった多岐にわたる成果を得るため、「丸山千枚田オーナー制度運営事業」・「地鶏生産事業」・「地鶏販売

促進事業」・「地域環境整備事業」などを行います。

(継続) 丸山千枚田保全事業【地域振興課】 1,767万1千円

丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を行い、観光資源、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承や雇用の確保に努めます。

(2)林業

(ア)市民と共存する豊かな森づくり

(新規) オフセットクレジット推進事業【林業振興課】 850万円

市内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VET)の取得、販売を推進します。

(新規) 施業集約化促進対策事業【林業振興課】 1,862万7千円

集約化施業により搬出間伐を推進するため、小規模森林所有者を取りまとめ合意形成を図ります。合意形成への取組に必要な森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。

(新規) 森林整備加速化事業【林業振興課】 350万円

特定間伐等促進計画に位置づけられた施業の中で、地形が急峻であったり、林道から遠いなど、林業を行う上で条件が不利なため森林整備が進まなかった森林の間伐を実施します。

(新規) 甲虫類飼育事業【林業振興課】 10万円

紀和町のクヌギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的に作り増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに、観光客に昆虫採取の体験メニューを提供します。

(継続) 林内路網整備事業【林業振興課】 1,000万円

作業等の路網整備を行うことで、地域材利用促進を図るとともに、間伐等の森林整備の加速化を推進します。

(継続) 森林整備地域活動支援交付金事業【林業振興課】 1,231万3千円

森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業が実施されるよう、その森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、実施区域の明確化、実施区域へのアクセス道の整備等に対し支援を行います。

(継続) 森林環境創造事業【林業振興課】 3,693万3千円

環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。

(継続) 森林病虫害防除事業【林業振興課】24万2千円
花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。

(継続) 林内作業道開設事業【林業振興課】210万円
森林組合が開設する作業道について、測量支援を行います。

(継続) 林道開設事業【産業基盤整備課】1億3,710万1千円
林道高代山線開設事業、他2路線の改良事業を実施します。

(継続) 民有林境界測量促進事業【林業振興課】58万8千円
民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。

(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり

(新規) 熊野材輸出促進事業【林業振興課】176万9千円

市と熊野木材協同組合が一体となって熊野材輸出促進のための協議会を設置し、熊野材の産地化を進めることによって消費者の認知度を深め、工務店などに営業活動を行うことにより、都市部での需要拡大を図ります。

(継続) 木造住宅建設促進対策事業【林業振興課】1,100万円
地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築者にレインボー商品券の購入を助成します。

(3)水産業

(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備

(新規) 遊木漁港改良事業【産業基盤整備課】500万1千円

遊木漁港内の航路に土砂が堆積し、漁船運行に支障があるため、浚渫し改善を図ります。

(新規) 増殖礁造成事業【産業基盤整備課】500万円

二木島湾内に人口増殖礁(着定基質に貝殻や間伐材を使用)を沈設します。

(増額) 新規養殖魚調査研究事業【水産・商工振興課】465万2千円(445万2千円)

マダイに代わる新たな養殖魚としての可能性を探るため、ウマズラハギ及びアワビを試験的に養殖します。

(継続) 環境生態系保全活動支援事業【水産・商工振興課】80万円

藻場や磯場の生態環境保全のため、藻場保全など地域組織が実施する活動について支援を行います。

(継続) 養殖魚種転換緊急支援事業【水産・商工振興課】 100万円

熊野市内の養殖魚業者がマダイ以外の養殖魚種を購入する場合の資金融資について、必要となる利子の一部(融資金額の1%)を支援します。

(継続) 種苗放流事業【水産・商工振興課】 342万3千円

トラフグ、ヒラメ、マダイの放流に加え、魚価が高く放流後の定着性のあるカサゴの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。

(イ)ブランド化と輸出の拡大

(新規) 熊野ブランド水産物確立モデル事業【水産・商工振興課】 220万8千円

熊野で水揚げされる水産物が安心・安全な“熊野ブランド水産物”として認証し流通させるため、鮮度保持効果が高いとされる断熱コンテナ等の導入経費に対し補助を行います。

(新規) 漁業6次産業化推進事業【水産・商工振興課】 80万円

漁業関係者等と産地協議会を設置し、漁業の6次産業化に資する取組を行います。

(ウ)内水面漁業の振興

(継続) 漁協淡水魚放流事業【水産・商工振興課】 125万円

水産動植物の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷・紀和町、北山川神川の各漁協によるアユ、ウナギ、アマゴの放流に対し、助成を行います。

(エ)後継者育成

(新規) 漁業新規就業者支援事業【水産・商工振興課】 38万円

熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。

(継続) 漁業担い手対策事業【水産・商工振興課】 134万円

漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。

②保健・医療・福祉の充実 「支え助け合い、健やかにいきいきと暮らせるまち」

1 支え合い助け合う福祉の充実

(1)高年齢者福祉

(ア)高年齢者の健康づくり

(継続) 水中運動事業【健康・長寿課】 11万6千円

要介護状態への予防を目的として、65歳以上の高齢者を対象とした筋力向上・転倒予防のための水中運動をB&G海洋センタープールで実施します。

(継続) 介護予防ケアマネジメント事業【健康・長寿課】 3,488万5千円

介護予防事業、新予防給付の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

(継続) 高齢者生活機能チェック事業【健康・長寿課】 602万5千円

全国統一の問診表により、特定高齢者(介護予防事業への参加が望ましいとされる者)の候補者をスクリーニングし、介護予防事業へとつなげていきます。

(継続) 介護予防一般高齢者施策事業【健康・長寿課】 1,988万5千円

65歳以上の高齢者に対する健康教室や転倒予防教室、高齢者伝承遊び普及、アクアエクササイズなどを実施し、生活習慣改善及び要介護予防につなげます。

(継続) 介護予防特定高齢者施策事業【健康・長寿課】 415万9千円

要介護状態の予防のため、要介護状態になる可能性の高い高齢者の把握や評価をし、運動機能の向上、栄養相談、口腔機能改善などを実施します。

(イ)高年齢者の生きがいと社会参加の促進

(継続) 若返りクラブ事業【健康・長寿課】 144万円

高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。

(ウ)ともに支え合える地域社会づくり

(新規) 地域自殺対策緊急強化事業【健康・長寿課】 50万円

県内で自殺死亡率が高い東紀州地域の状況について市民に関心を持ってもらい、地域全体で自殺を予防することの大切さを理解してもらいます。

(継続) 食の自立支援事業【健康・長寿課】 347万2千円

在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。

(継続) 緊急通報装置設置事業【健康・長寿課】 78万6千円

在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。

(継続) 元気見守り事業【健康・長寿課】 172万8千円

地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。

(継続) 家族介護者支援・交流事業【健康・長寿課】 74万5千円

認知症高齢者の家族介護者への相談、指導、介護技術の習得支援、情報交換、交流等を行います。

(エ)相談・支援体制の充実

(新規) 元気づくり推進員モデル事業【健康・長寿課】 100万4千円

市内のモデル地区3地区に元気づくり推進員を配置し、地域の実情に応じたきめ細かい健康づくりのための戸別訪問活動啓発活動などを行います。

(新規) 元気確認推進事業【健康・長寿課】 44万1千円

元気確認(見守り)を希望される一人暮らし高齢者を把握し、定期的な安否確認を実施します。

(新規) 高齢者ふれあい会食事業【健康・長寿課】 10万3千円

独居高齢者に定期的に集会所等へ集まっていただき、皆で食事をとりながら介護予防活動等を行っていただきます。5地区で実施します。

(新規) 高齢者福祉計画策定事業【健康・長寿課】 5万4千円

高齢者福祉施策にかかる3ヵ年計画を策定し、高齢者福祉施策を総合的かつ計画的に推進していくための指針とします。

(継続) 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)

【健康・長寿課】 1万3千円

一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。

(継続) 認知症サポーター養成事業【健康・長寿課】 19万6千円

講師役のキャラバンメイトを養成し、講演会・研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。

(継続) 総合相談・権利擁護事業【健康・長寿課】 488万8千円

社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。

(継続) 介護用品支給事業【健康・長寿課】 438万3千円

重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品を支給します。

(継続) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業【健康・長寿課】 515万円

地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。

(2)障がい者福祉

(ア)地域生活への移行支援

(増額) 障がい者自立支援事業【福祉事務所】 3億9,236万4千円(3億4,816万1千円)

障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、車椅子などの補装具やオムツなどの日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。

(増額) 障がい者グループホーム等移行支援事業

【福祉事務所】 132万8千円(86万6千円)

障がい者グループホーム等入居者の家賃補助を行い、自立生活を支援します。

(継続) 障がい者相談員設置事業【福祉事務所】 5万円

身体障がい者及び知的障がい者の更正援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。

(イ) 就労支援と社会参加

(継続) 授産施設等通所交通費補助事業【福祉事務所】 152万円

在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が授産施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。

(継続) 重度障がい者等管外施設送迎費補助事業【福祉事務所】16万円
市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。

(3) 子育て支援

(ア)母と子の健康づくり

(新規) 幼稚園フッ化物塗布推進事業【教育委員会】10万4千円

虫歯予防のため、幼稚園園児にフッ化物塗布を行います。

(新規) 保育所フッ化物塗布推進事業【福祉事務所】30万8千円

虫歯予防のため、保育所園児にフッ化物塗布を行います。

(新規) 乳児フッ化物塗布推進事業【健康長寿課】57万3千円

虫歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳児にフッ化物塗布を行います。

(新規) 子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種緊急促進事業

【健康長寿課】2,901万円

予防接種のうち子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン予防接種に要する費用を補助します。

(新規) 子宮頸がんワクチン接種(高校2年・3年対象)助成事業

【健康長寿課】216万円

国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業において、子宮頸がんワクチン予防接種の接種対象外となる高校2年・3年を対象にワクチン接種費用の一部を補助します。

(継続) 5歳児発達健診事業【健康・長寿課】11万1千円

注意欠陥多動性障害、高機能広汎性発達障害、学習障害、軽度精神発達遅延の疑いがある子供について小児精神発達専門医師による就学前の健診及び相談を行います。

(継続) 少子化対策・妊婦一般健康診査事業【健康・長寿課】1,326万円

母子保健のしおりを発行するとともに、平成22年度に引き続き自己負担なしで受診していただける妊娠健診の助成を5回から14回に拡大します。

(継続) 乳幼児療育教室(すぎっこ教室)事業【健康・長寿課】50万7千円

発達に遅れのある幼児と保護者を対象に、保育士による集団活動や遊びの指導などによる発達支援のための療育教室を実施します。

(継続) 特定不妊治療費助成事業【健康・長寿課】50万円

不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助

成します。

(継続) 食育推進事業【健康・長寿課】 18万2千円

幼児とその保護者に対して、教室を開催し、情報誌を発刊することで、親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。

(イ)安心して産み育てられる環境づくり

(新規) 熊野市ファミリーサポートセンター事業【福祉事務所】 210万円

ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。

(新規) 金山保育所土曜日延長保育事業【福祉事務所】 33万2千円

土曜日の保育を午後1時から午後5時まで延長し、保育サービスの充実を図ります。

(新規) 保育所絵本購入事業【福祉事務所】 51万3千円

子どもの豊かな心の成長を育むため、保育所において絵本を購入し、貸出しを行います。

(増額) 子ども手当給付事業【福祉事務所】 3億3,056万8千円(2億8,794万5千円)

中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円を児童手当に上乗せして支給します。3歳未満は一人当たり月額2万円を支給します。

(増額) 放課後児童対策事業【福祉事務所】 1,083万8千円(789万8千円)

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。

(増額) 母子家庭高等技能訓練促進事業【福祉事務所】 851万円 (174万2千円)

母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。

(増額) 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業【福祉事務所】 135万円(45万円)

くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。

(増額) 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業

【福祉事務所】 33万6千円(19万2千円)

子育ての不安感、孤立感を解消するため、6歳未満の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1を助成します。23年度は新たにひとり親家庭の場合、利用料の4分の3を助成します。

(増額) 少子化対策・婚活拡充事業【福祉事務所】 29万7千円(26万6千円)

男女の出会いの場を作るため、バスツアーや親同士の交流会を実施します。

(増額) 少子化対策ふるさと商店街子育て支援事業

【水産・商工振興課】 11万8千円(9万4千円)

3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の店舗で割引などのサービスが受けられるパスポートを発行します。

(継続) チャイルドシート購入費補助事業【福祉事務所】 45万円

6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。

(継続) 少子化対策・多子家庭応援事業【福祉事務所】

18歳以下の子どもが3人以上いる世帯で、第3子以降が保育所に入所する場合、保育料を第3子は月額5千円、第4子は月額7千円、第5子以降は月額1万円をそれぞれ減額します。

(継続) 少子化対策・土曜日延長保育事業【福祉事務所】 66万4千円

引き続き土曜日の開所時間を延長し、保育サービスの充実を図ります。

①土曜日午後5時まで延長

井戸、有馬

②土曜日午後1時まで延長

たんぼぼ、新鹿、木本、金山、五郷、板屋、神川

(継続) 子育て支援事業【福祉事務所】 971万5千円

金山保育所内に職員を配置して保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談及び情報提供を行い、子育て支援を行います。

(継続) 母子家庭自立支援教育訓練給付事業【福祉事務所】 20万円

母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、母子家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。

(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり

(継続) 次世代育成支援対策交付金事業(老人とのふれあい事業)

【福祉事務所】 66万1千円

地域の老人を保育施設に招待し、園児とゲームや伝承遊びをして楽しみます。また、地区の敬老会や老人福祉施設を訪問し、歌や踊りを披露し交流を行います。

(4) 社会保障等

(ア) 福祉医療

(増額) 心身障がい者医療費助成充実事業【市民保険課】154万2千円(109万9千円)
療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。

2 健康長寿の推進

(1) 健康づくり

(ア) 健康づくり意識の向上

(継続) 任意予防接種(肺炎球菌ワクチン)補助事業【健康・長寿課】72万円
高齢者の肺炎で最も頻度が高いとされている肺炎球菌による肺炎の発症及び重症化、死亡を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を補助します。

(継続) 女性特有のがん検診推進事業【健康・長寿課】217万5千円
子宮がん検診、乳がん検診の対象者に検診手帳、クーポン券とともに受診案内を送付し、6ヶ月間の有効期限内に受診した者に対し、検診費用の全額を補助します。

(継続) 麻しん、風しん予防接種推進事業【健康・長寿課】515万9千円
麻しん、風しんの予防接種を強化するため、中学1年生と高校3年生について各学校での集団接種と個別接種を併用し、推進します。

(継続) がん検診推進事業【健康・長寿課】22万円
年間を通じたがん予防キャンペーンを実施するとともに、受診しやすい体制をつくることで受診率を向上させます。

(イ) 生活習慣病予防

(継続) 各種健康診査・データ管理事業【健康・長寿課】117万9千円
各種健康診査の受診への助成を行い受診率の向上を図るとともに、市民1人ひとりの健康管理を目指したデータ管理を進めます。

(継続) 健康相談・意識啓発・訪問指導事業【健康・長寿課】9万3千円
健康診査受診者に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。

(継続) メタボリックシンドローム対策事業【健康・長寿課】56万6千円

内臓脂肪はウエスト周りをメジャーで測定することで簡単に判定できるので、特にウエスト周りが85cm以上ある男性や、90cm以上ある女性に広く参加を呼びかけ、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の解消を目指した取り組みを実施します。平成22年度に引き続き3ヵ月後の測定に加え、リバウンド予防のため6ヵ月後の測定も実施します。

(2)医療体制

(ア)救急医療体制の充実

(継続) 救急救命士養成事業【消防署】 241万2千円

平成23年度においても1人養成を行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管、薬剤投与の実習を実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

1 市民文化の創造

(1)文化芸術

(ア)文化芸術に触れる機会の提供

(継続) 文化公演実施事業【教育委員会】954万8千円

芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくるとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。

(イ)総合的・体系的な生涯学習の推進

(継続) 図書ボランティア養成事業【教育委員会】28万8千円

これまでの読み聞かせに加え、本の配架や補修等もできるボランティアを養成します。

(ウ)文化芸術活動の場の提供

(新規) 市民会館舞台照明設備改修事業【教育委員会】1億8,800万円

老朽化し部品交換ができなくなる市民会館舞台照明設備を改修します。

(新規) バンド演奏練習場整備事業【教育委員会】380万円

山崎運動公園多目的グラウンド管理施設2階の準備室をバンド練習ができるように天井、内壁及び床の吸・防音性能を高めるため改修を行います。

(継続) 図書館図書購入事業【教育委員会】2,000万円

図書館図書を購入します。

(エ)文化的資源の継承と活用

(新規) 水車谷鉦山跡竈跡保存施設改修事業【教育委員会】539万円

史跡の主要な遺構を損なう危機的な状況にあるため、保存施設の改修を行い貴重な文化財の保存・継承を図ります。

(新規) 新「熊野市の文化財」図書編纂事業【教育委員会】88万4千円

合併後の新熊野市における文化財の内容をまとめた図書「熊野市の文化財」を2年間で編纂します。

(2)国際交流

(ア)国際交流の推進

(継続) 国際交流推進事業【市長公室】 173万5千円

姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、ソレント市及びバストス市からの児童研修生の受け入れを行います。

(継続) 児童海外研修事業【教育委員会】 300万円

姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。

(3)地域間交流

(ア)友好都市との交流推進

(継続) 友好都市交流事業【市長公室】 13万3千円

友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「ウォーキングフェスティバル」や「産業まつり」などへ、桜井市からは「熊野大花火大会」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。

2 生涯学習社会の形成

(1)学校教育(義務教育)

(ア)学力向上の推進

(増額) 放課後学習プラン事業【教育委員会】 127万4千円(91万円)

市内小中学校6校を対象に、放課後3時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(増額) 夏休み学習プラン事業【教育委員会】 50万4千円(27万円)

市内小中学校6校を対象に、夏休みに20日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(継続) 外国語指導助手(ALT)配置事業【教育委員会】 1,700万円

外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、国際感覚にあふれた人材を育成します。

(継続) 学力調査活用事業【教育委員会】 30万円

学力調査を活用して児童生徒の学力の定着状況を把握・分析することを支援します。

(継続) 小学校英語教育推進事業【教育委員会】12万1千円

小学校における英語教育が充実したものとなるよう、調査・研究を進めます。

(イ) 教職員の資質の向上

(継続) 学力向上研究事業【教育委員会】15万9千円

全国学力学習状況調査の結果を受け、研修会を開催し、授業方法の工夫と改善につなげます。

(継続) 学力アドバンス事業【教育委員会】30万円

小中学校を指定校として、教師の授業方法の工夫や改善を支援します。

(ウ) 心の教育の推進

(継続) 小中学校学級用図書購入事業【教育委員会】242万5千円

児童生徒の読書の量と質の向上のため、学級用図書を購入します。

(エ) 特別支援教育の推進

(増額) 臨時介助員配置事業【教育委員会】3,640万7千円(2,753万4千円)

知的、身体的障がいのある児童生徒に介助員を配置します。

(増額) 臨時特別支援教育支援員設置事業【教育委員会】533万7千円(478万5千円)

特別支援教育が必要な学校に支援員を配置します。

(オ) 安全・安心な学校環境の整備

(増額) 新鹿小・中学校、保育所改築事業

【教育委員会】4億2,561万6千円(2億1,715万8千円)

小中保育所併設校舎、屋内運動場の改築事業を平成22年度から3か年で実施します。

(継続) 小学校耐震補強事業【教育委員会】5,457万8千円

神上小学校屋内運動場の耐震補強事業を実施します。

(継続) 中学校耐震補強事業【教育委員会】3,965万5千円

荒坂中学校屋内運動場の耐震補強事業を実施します。

(2) 学校教育（高等学校等の教育）

(ア) 高等学校等への要請と協力

(増額) 奨学金貸付事業【教育委員会】 780万円 (600万円)

大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後毎月2万円の償還を受けます。

(継続) 近大高専奨学金貸付事業【教育委員会】 52万5千円

平成22年度までに貸与を受けている生徒については、3年生まで貸与します。

(3) 生涯学習

(ア) 多様な生涯学習機会の提供

(継続) 生涯学習事業【教育委員会】 250万円

高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「熊野市市民大学」、「まちの人材活用事業」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。

(4) 生涯スポーツ

(ア) 生涯スポーツの普及・促進

(新規) 海洋センターリニューアル記念事業【教育委員会】 33万1千円

マラソンランナー谷川真理さんによるウォーキング教室などを開催し、リニューアルした海洋センターをより多くの方々にPRし利用促進を図ります。

(増額) アクアキッズフェスティバル開催事業【教育委員会】 40万2千円(11万2千円)

泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。

(継続) ヨット体験教室開催事業【教育委員会】 1万円

小学4、5、6年生を対象にヨット体験教室を開催します。

(継続) カヌー教室開催事業【教育委員会】 1万円

小学4、5、6年生を対象にカヌー教室を開催します。

(継続) くまの健康スポーツクラブ運営事業【教育委員会】 123万1千円

国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。

(継続) 市民健康スポーツ祭開催事業【教育委員会】 50万円

子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進しま

す。

(イ) スポーツ施設の整備・充実

(新規) 市総合グラウンド改修事業【教育委員会】 1億463万6千円

老朽化した浄化槽、体育館トイレ、屋外トイレの改修を行います。また、プールを解体撤去し、駐車場と倉庫を整備します。

(新規) 海洋センター体育館・武道場大規模改修事業【教育委員会】 3,521万4千円

老朽化している海洋センター体育館・武道場の外壁、屋根、内部等の改修を行います。

(新規) 山崎運動公園ブルペン建設事業【建設課】 500万円

山崎運動公園内に野球の投球練習場を整備します。

3 人権尊重社会の形成

(1)人権の尊重

(ア)人権問題への総合的な取組

(新規) 持続可能な人権教育のための調査研究事業【教育委員会】 150万円

人権学習の指導方法・内容充実を図るため、市内小中学校区の教職員が研修会等を実施します。

(新規) 人権教育総合推進地域事業【教育委員会】 102万円

小中学校において、教職員研修会、先進地視察等を実施し、地域内の人権教育の推進と充実を図ります。

(継続) 人権啓発事業【市民保険課】 104万8千円

広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会とコンサートを行います。

(2)男女共同参画社会

(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり

(増額) 男女共同参画推進事業【市長公室】 135万1千円(38万6千円)

男女共同参画の普及のための講演会や啓発活動を行います。また、24年度以降の基本計画改訂版策定に向けた準備作業を行います。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

1 美しく魅力ある景観の整備

(1)土地利用

(ア)適正な土地利用の推進

(増額) 地籍調査事業【建設課】 1,269万3千円(767万2千円)

道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、国道、県道の整備促進を図ります。

(2)市街地の整備

(ア)計画的な市街地の整備

(新規) 熊野市駅前周辺街並景観整備モデル事業【建設課】 120万円

駅前周辺の家並みの熊野らしいデザインでの統一化を図ります。

(増額) 電線共同溝整備事業【建設課】 3,150万2千円(2,001万円)

都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。23年度は詳細設計、水道管・電柱移設を実施します。

(継続) 誘客・周遊による活性化推進事業【市長公室】 10万円

鬼ヶ城・花の窟などの世界遺産の魅力を活用した誘客・周遊の仕掛けづくりや、賑わいを創出するための各拠点のあり方・連携策・景観などについて、商工会議所とともに検討を行います。

(継続) 社会資本整備総合交付金事業【建設課】 1億479万1千円

地域住民の生活環境の向上を図るため、平成23年度は、松原井土線改良事業、関船切立線改良事業外6線改良事業等を実施します。

(3)花のまちづくり

(ア)花いっぱい運動の普及

(新規) 小学校花いっぱい運動事業【市長公室】 19万9千円

花いっぱい運動を広げるため、市内小中学校の敷地内で花づくりを行います。

(継続) 花いっぱい運動事業【市長公室】 149万円

育苗施設を活用した花づくり、オープンガーデン熊野の開催などを実施します。

2 安全で快適な居住環境の充実

(1) 防 災

(ア) 住民意識の高揚と自主防災組織の強化

(増額) 豪雨対策事業【防災対策推進課】43万7千円(18万1千円)

大雨、洪水時の災害に備えて、要望のある自主防災会に対し、土のうを無償配布し、住民が緊急時に対応できるようにします。

(継続) 自主防災組織資機材整備事業【防災対策推進課】50万円

防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。

(イ) 災害に強い構造のまちづくり

(新規) 衛星系防災行政無線整備事業【防災対策推進課・消防署】1,384万円

大規模災害時に備え、衛星系無線機を整備します。

(増額) 災害時救護所整備事業【防災対策推進課】99万円(70万円)

大規模災害時、地元医師会を中心とした救護所の設置のため、避難用大型テント、発電機などを整備します。

(増額) 災害時避難所整備事業【防災対策推進課】76万8千円(36万3千円)

大規模災害時、避難生活に必要な簡易かまど、簡易トイレ、紙おむつ等を整備します。

(増額) 急傾斜地崩壊対策事業【建設課】880万円(660万円)

甫母地区外2地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。

(継続) 耐震シェルター設置事業【防災対策推進課】250万円

住宅の倒壊から居住者の生命の安全を守るため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で、耐震診断の結果による評点が0.7未満とされた住宅に居住している65歳以上の高齢者のみの世帯等に耐震シェルター設置費用の補助を行います。

(継続) 木造住宅耐震補強補助事業【防災対策推進課】966万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。

(継続) 避難路整備事業【建設課】500万円

緊急避難時において、老人、子ども等が安全に避難できるよう階段に手すりを取り付けたり、路面の補修を行います。

(継続) 木造住宅耐震診断等事業【防災対策推進課】 450万円

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を実施します。

(継続) 停電時避難誘導灯整備事業【防災対策推進課】 188万3千円

災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。

(継続) 津波避難路ブロック塀等除去改修事業【防災対策推進課】 100万円

津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。

(継続) 災害時用非常食・飲料水整備事業【防災対策推進課】 47万1千円

東海・東南海・南海地震が発生した際の避難者が最低限過ごせるだけの非常食及び非常飲料水を購入し、計画的に備蓄します。

(継続) 緊急時浄水器整備事業【防災対策推進課】 36万8千円

大規模地震等の災害時に備え、水源地地区に緊急時用浄水器を整備します。

(継続) 家具転倒防止器具取付事業【防災対策推進課】 32万円

災害弱者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、固定のためのL字金具等を取り付けます。

(2)消 防

(ア)消防力の充実強化

(新規) 育生分団車庫改築事業【消防署】 1,504万円

著しく老朽化している育生分団車庫を、積載者車庫、待機所を備えた車庫として改築します。

(3)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 空家情報公開事業【水産・商工振興課】 5万1千円

市内の山間部・海岸部にある空家を貸したいという人を広報を通じて募集し、市のホームページや広報を通じて空家情報を公開し、借りたい人を募集します。

(5)道 路

(ア)高規格幹線自動車道の整備促進

(継続) 熊野尾鷲道路整備促進事業【建設課】 6万1千円

熊野尾鷲道路整備促進のため用地交渉に同行し、地権者との調整を図ります。

(イ)国道の整備促進

(継続) 国道309号、311号道路改良事業【建設課】 200万円

五郷町における国道309号及び甫母町から新鹿町の国道311号における改良事業に対して、事業費の一部を負担します。

(ウ)市道の整備推進

(新規) 橋梁修繕計画策定事業【建設課】 400万円

橋長15m以上(市内78橋梁)の橋梁修繕計画を策定します。

(増額) 道路維持事業【建設課】 6,500万円 (6,000万円)

市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を蓋付き側溝に改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。

(増額) 道路新設改良事業【建設課】 4,650万円 (4,250万円)

市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。

(6)交通体系の整備

(ア)公共交通の確保

(増額) 福祉バス運行事業【健康・長寿課】 944万5千円(593万5千円)

① 紀和町全域において、バスの未運行地域に福祉バスを運行し、地域の高齢者が安心して生活ができるよう利便性を確保します。

②JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。23年度は車輛の更新を行います。

(増額) 第3種生活路線維持事業【市長公室】 684万9千円(617万3千円)

市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。

(継続) バス運行対策事業【市長公室】 6,462万3千円

路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。

運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線

瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥五郷線

(イ)地域交通体系の構築

(増額) 地域公共交通会議運営事業【市長公室】 32万9千円(26万6千円)

市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。

(継続) 過疎交通対策推進事業【市長公室】 13万7千円

平成22年度から実施された過疎地有償運送制度に対して、継続的な意向調査を実施します。

(7)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(新規) 市営住宅改修事業【建設課】 2, 250万円

馬の戸団地の外壁、屋上防水、塗装工事を実施します。

(継続) 市営住宅耐震診断事業【建設課】 321万7千円

建物の延命化を図るため、向イ山団地、第1所山団地の耐震診断を実施します。

3 環境保全の推進

(1)廃棄物処理

(ア)廃棄物の減量化

(継続) 電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業【環境対策課】 66万円

電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。

(イ)廃棄物処理体制の充実

(増額) 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業【環境対策課】 2, 477万8千円(900万円)

耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターを建設するために必要な生活環境影響調査等の業務を実施します。

(2)環境保全

(ア)水環境・自然環境の保全

(継続) 休廃止鉱山公害対策事業【環境対策課】 756万円

休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。

(継続) よみがえれ大又川連絡協議会活動事業【環境対策課】 25万円

大又川の水質の再生を目指して生活雑排水処理施設の効力の研究、合成洗剤から石鹼への切り替え運動等を実施している連絡協議会の活動費用の一部を助成します。

(イ)地球温暖化の防止

(増額) 緑のカーテン運動推進事業【環境対策課】 22万9千円(19万9千円)

地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。

(ウ)環境美化と環境衛生

(継続) 全市民によるごみ拾い運動事業【環境対策課】 1万5千円

6月を全市民によるごみ拾い運動月間と定め、市民に1人1個のごみ拾い運動への参加を呼びかけます。

(継続) 不法投棄防止対策事業【環境対策課】 100万円

不法投棄パトロールの実施、カメラの設置等を行い不法投棄のないきれいなまちづくりを目指します。

(継続) 熊野市環境美化ボランティア推進事業【環境対策課】 4万8千円

環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、ボランティア保険の加入、サインボードの設置等の助成を行います。

⑤まちづくりの進め方

1 市民と行政の協働によるまちづくり

(1)市民参加の推進

(ア)情報の共有と広報・広聴の充実

(新規)市ホームページ修正事業【市長公室】20万円

ホームページの見ずらい箇所を修正します。

(継続) 広報紙内容充実事業【市長公室】12万円

広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。

(継続) 市民意識調査事業【市長公室】29万2千円

市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。

(2)地域コミュニティの育成強化

(ア)地域コミュニティ活動への支援

(増額) 過疎集落維持活性化推進事業【市長公室】3,389万6千円(2,424万9千円)

各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を増員配置し、集落機能の強化を図ります。

(継続) 田舎暮らし体験事業【水産・商工振興課】28万円

移住希望者の定住促進を図るため、市が空家を借り受け、移住希望者に短期間(1ヶ月程度)の田舎暮らしを体験してもらいます。

(継続) 移住・交流推進事業【市長公室】30万円

空き家を活用した田舎暮らし体験モデル事業や都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。

(継続) あいさつ運動推進事業【市民保険課】40万2千円

地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。

(継続)「美し国おこし・三重」支援事業【市長公室】72万円

地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。

(イ)地域まちづくり協議会の充実

(継続) 地域まちづくり協働事業 1,543万6千円

各協議会において策定された総合計画に基づき、平成22年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。

(各地域の事業内容等についてはP52、53)

(ウ)環境整備

(新規)長井生活改善センター改修事業【教育委員会】230万円

長井生活改善センターの屋根、外壁塗装、エアコン設置事業を実施します。

(新規)金山多目的集会所外壁改修事業【農業振興課】210万円

金山多目的集会所の外壁改修事業を実施します。

(新規)小規模水道整備事業【環境対策課】68万9千円

育生町大井地区、須野町の小規模水道施設改修事業の補助を行います。

(新規)神山生活改善センター駐車場整備事業【教育委員会】29万1千円

神山生活改善センターの駐車場の舗装を実施します。

(新規)磯崎区民集会所エアコン設置事業【教育委員会】11万4千円

磯崎区民集会所のエアコン設置費に対し支援を行います。

(新規)川畑集会所修繕事業【教育委員会】5万5千円

川畑集会所のシロアリ対策修繕に対し支援を行います。

(3)市民活動の促進

(ア)市民活動と行政との協働の推進

(継続)若者・女性による元気な熊野市懇談会事業【市長公室】64万1千円

30代～40代の若い世代や女性と市役所幹部との懇談会を実施し、地域活性化の施策を検討します。

2 市民本位の行政

(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進

(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成

(継続) コーチング研修事業【総務課】 200万円

コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。

職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。

(継続) 職員企業等派遣研修事業【総務課】 72万3千円

職員を民間企業に派遣し、民間企業の「顧客感覚、経営感覚」などの厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。

3 財政健全化に向けた取り組み

(1)人件費の削減

(ア)退職職員の不補充(退職22人、採用5人)による減 9,500万円

(2)公債費繰上償還の実施

(ア)繰上償還を実施し、後年度公債費の負担を軽減させます。

繰上償還額 4億6,142万円

平成23年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	予算額 (千円)	担当課
		事業の内容		
荒坂	荒坂ミニファーム2010事業 (H22～)	① 「えごま」「ニンニク」を栽培し採算性を見込みを探る ② 引き続き「ひょうたん」の栽培、加工方法の研究 遊休農地を利用した「えごま」「ニンニク」「ひょうたん」の栽培及び絵付けなどの加工	561	農業振興課
新鹿	災害に強いまちづくり整備事業 (H19～)	防風林の整備 ① 枯死した木の伐採 ② 枯死対策の剪定・施肥等	935	防災対策推進課
	広報設備整備事業	情報伝達手段の整備 屋外掲示板を町内6ヶ所に設置	1,065	市長公室
	小計		2,000	
波田 須	徐福花の里づくり事業 (H19～)	熊野古道と花の里によるまちづくり 花壇の整備及び花木の植栽、ハーブの栽培 アートフェスティバル	578	市長公室
磯崎	水源地復活・活用事業	荒廃している、水源地を復活させ市場での活用や災害時の断水に備える ① 水源地の改修 ② 水源地周辺の維持管理作業 ③ 水源地からのパイプの点検・修理作業	1,423	防災対策推進課
大泊	環境美化普及事業 (H21～)	地域環境の改善を図る ① EMの普及を目的とした講演会の開催 ② 各家庭において培養・使用 ③ 水質検査の実施	374	環境対策課
木本	木本町出身のオリンピック選手顕彰事業 (H20～)	木本町出身のオリンピック選手の資料整備、展示、広報 木本町出身オリンピック選手の収集資料の加工・製作、資料の展示、協力を求めるチラシの作成及び配布	197	教育委員会
	「ホテル川」づくり事業 (H21～)	ホテルを定着させるために餌となるカワニナを養殖する ① カワニナの養殖・講習会 ② 活動チラシの配布	70	環境対策課
	ウォーキングコース設置事業 (H21～)	ウォーキングイベントを開催し町民の健康増進を図る ① ウォーキングイベントを定期的に開催、チラシ作成	237	健康・長寿課
	小計		504	
井戸	井戸川環境美化普及事業 (H17～)	EMによる井戸川の環境美化 ① 井戸川へのEM団子及び活性液の投入 ② 井戸川周辺の草刈とすずきの除草	404	環境対策課
有馬	花の里づくり事業	花の地域産品創出と景観づくり 遊休農地等を活用した花卉栽培	669	農業振興課
久生 屋	ウォーキングイベント事業	地域の史跡・名勝をめぐるウォーキングイベントを開催 前年度作成したマップを利用し地域の再発見をしつつ健康増進を図る	149	健康・長寿課
	小鳥のさえずりが聞こえる町づくり事業	子供と巣箱作りを通じて地域の自然を守る 大前池に飛来する小鳥多くするために子供たちと巣箱作りを行う	20	環境対策課
	小計		169	
金山	環境美化活動推進事業 (H18～)	ホテルの里づくりによる住民の環境美化に対する意識の向上 ① 河川環境美化活動	25	環境対策課
	ビューポイント整備事業 (H20～)	住民や来訪者の憩いの場づくり 海が見える遊休農地をビューポイントとして整備	120	観光スポーツ交流課
	小計		145	

平成23年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	予算額 (千円)	担当課
		事業の内容		
育生	とこね広場周辺整備事業 (H17～)	町内外の人達の交流と憩いの場づくり	1,334	農業振興課
		① 電気設備設置作業 ② 柵設置作業 ③ 湧水処理パイプ設置 ④ 立ち木手入れ作業 ⑤ 藤棚増設作業 ⑥ 園芸及び草刈作業 ⑦ 案内看板設置作業 ⑧ 観光マップ作成		
神川	神川町多目的グラウンド整備事業 (H20～)	イベントやコミュニティの場づくり	2,000	教育委員会
		神川中学校グラウンドの整備 (フェンス設置)		
五郷	新地場産業興し研究事業 (H19～)	新たな地場産業による地域の活性化 お茶、いたどり、ふゆき、果樹の栽培及び木工品と苔玉の加工	949	農業振興課
	安心して住めるまちづくり事業 (H22～)	防災設備の充実、住民の意識の高揚と啓発 ① 防災資器材倉庫の設置 (13施設) ② 発電機 (1台)、無線機 (2台)、救急医療セットの購入 ③ 防災カレンダーの作成 ④ 防災資器材の保守点検	681	防災対策推進課
	小計		1,630	
飛鳥	すきま野菜産地化計画事業 (H19～)	① 農地の遊休化の防止 ② 直売所における安定的な産品の確保 ③ 農家の所得の向上 ① 多品種野菜生産の産地化 ② 希少性が高く、地域で栽培可能な野菜の有機的農法による生産 ③ 年間を通して販売ができる野菜類の栽培研究	289	農業振興課
	方言辞書作成事業	廃れつつある方言を記録・保存し、後世に伝える 飛鳥地区に残る方言辞書の作成	82	教育委員会
	飛鳥地区助け合い事業	ボランティアグループを組織し、運営の手助けをしていく 各地区にボランティアグループを2組組織する。(1組10名前後)	100	健康・長寿課
	小計		471	
上川	高齢者支援、地域景観保護事業 (H18～)	快適な生活環境と地域の美しい景観の整備 ① 高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 ② 道路や公共施設周辺の樹木の伐採	328	健康・長寿課
	小船地区環境整備事業	小船地区の環境整備	1,672	観光スポーツ交流課
	小計		2,000	
入鹿	防災頭巾作成事業	防災頭巾により小学生を守り、防災意識の高揚を図る 防災頭巾を作成し、入鹿小学校に配布する。	53	防災対策推進課
	環境美化事業	観光資源周辺の環境美化事業 千枚田、布引の滝などの観光資源のごみ拾いや草刈りの実施	126	環境対策課
	小計		179	
西山	赤木城史跡周辺イメージアップ事業 (H19～)	赤木城史跡景観保全 景観を損ねている立木の伐採	15	農業振興課
	小森地区地域活動支援事業	獣害対策の実施 ① 耕作放棄地の草刈 ② 獣害の被害が著しい公園へ獣害防止策の設置し地域活動の良好な環境整備	980	農業振興課
	小計		995	
合計			15,436	